

---

cutter

新品の靴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

cut t e r

### 【コード】

N 6 8 4 8 N

### 【作者名】

新品の靴

### 【あらすじ】

あたしは、今日も人を切りつけた。

あたしは、今日も人を切りつけた。  
相手はどこの誰かもわからない。

あたしは、通り魔。

どうして切りつけるのか自分でもわからない。  
気づけば切りつけてた、ってことでもない。

ちゃんと切りつけているという自覚はあった。  
自分が家を出るときにカッターナイフをポケットに入れるのもちやんと認識してたし、

人がまばらになる時間帯に家を出るのもちゃんと図ってたからだ。

だけど根本はどうしてかわからない。どうしてあたしは人を切りつけるのか。

問題を丸投げしてもいいのなら無意識のせいだと言いたい。  
心のバランスを保つために無意識がそうさせているのだと。

切りつける度相手は信じられないといった顔をする。  
日常、常識といった流れから理由もなく突然に外されたとき、人は誰もパニックに陥る。

次に来るのは、もちろん恐怖。瞳孔が開く。息がとまる。頭の中に疑問が溢れだす。どうして？誰？自分は死ぬの？

その段階をゆっくりと観察してから、あたしは逃げ出す。当然追ってこない。刺されたという事実は認識しているけれど、実際にそれがどれだけの深さなのかはまだ把握しきれていないからだ。もしかしたら深い傷かもしれない。相手より自分の安否のほうが重要だ。

そんなこんなであたしは切って切って切りまくった。

もちろん浅くだけどね。

殺したいとは思ってないから。

今日もあたしは人を切りつけようとしていた。

相手の周りに誰もいないのを確認し、そっとカッターナイフを取り出す。

足音を立てずに。ゆっくりとその女の子に近づいていく。

あれ……？

この子……

手首、だけでなく腕まで包帯で巻かれていた。よく知ってる。

リストカットの傷。

でもこの子の傷は腕まで達してる……

ふっとその子は後ろを向く。

し、ま、っ、た。

彼女はあたしの持つカッターナイフに気づく。

逃げ・・・ないと・・・

でも、でも、逃げられなかった。

なぜなら、なぜならその子はあたしをみて微笑んだからだ。

「私、あなたのこと知ってるよ。噂の通り魔でしょ？」

彼女はさも楽しそうに言う。

今度はあたしがパニックになる時間だ。

日常、常識といった流れから理由もなく突然に外されたとき、人は誰もパニックに陥る。

どうして怖がらないんだ・・・。

あたしはなんとか冷静でいようとす。

「あの・・・あ、・・・の」

・・・駄目だ。

「・・・傷。その傷どうしたの？」

逃げなくちゃいけないのにどうしてかそんな疑問が口をついで出た。

「ん？リスカだよ。って君もしてるじゃん！」

そう言っって楽しそうに笑う。

確かに。確かに私も手首を切ってる。人を切るたびに、自分も切る。

バランスのバランス。

だけど彼女の傷はあまりにも・・・

「でもあなた・・・腕まで傷が。」

「あはははは。変なヤツだよなー・・・。ここまでくるとリスカじやないっつの！でも君も相当だと思っけどなー」

「痛くないの？」

「お風呂の時はちょっとしみるかな・・・。せっけんで洗う時痛くない？」

確かに。

「ねえ、友達になろうよ！」

突然彼女は言い出す。

どうして、

どうしてそんな目であたしを見れるの・・・？

こんなにも醜いのに・・・どうしてそんなに綺麗な目で見れるの・・・

・・・？

「・・・はい。」

「どうして日常が動き出した。」

つづく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6848n/>

---

cutter

2010年10月9日10時34分発行